

Our Code

of Business Principles and Code Policies



誠実さを持って リードする

ユニリーバが「正しいことを行う」という姿勢を貫いてきたことは、私が長年この会社で働いてきた中で常に変わらないものです。

私は、ユニリーバが個人としての私とリーダーとしての私に与えてくれた自由を常に大切にしてきました。私たちが今後も成功を続けていくためには、私たちが現在から将来に向かって、どのように共に働くかの原則を共有し、常に誠実さをもってビジネスを行うというコミットメントを共有することが不可欠であることを、私は確信しています。

この重要な文書は、私たち一人ひとり、そして組織全体として守るべき行動基準を定め、すべての従業員が信頼と誠実さの文化を育む上で果たすべき重要な役割を支えるものです。この文化の中では、誰もが勇気を持って対話を行い、何かがおかしいと感じたときは声を上げることができます。

この文書は、私たちの人材、資産、評判、事業を展開する地域社会、消費者、カスタマー、そしてビジネス全体に関わるパートナーを守るために存在しています。私たちの会社を誠実かつ勇敢に保ち、卓越した成果を出すための支えとなるものです。

私たち一人ひとりがコードを読み、実践し、そして自信を持って懸念を提起する責任があります。今日も、そしてこれからもコードを体現し、守ってくださることに感謝します。

フェルナンド・フェルナンデス

CEO



「私たち一人ひとりが
コードを読み、実践し、
そして自信を持って
懸念を提起する責任が
あります。」

ようこそ、私たち のコードへ

私たちのコードとは？

ユニリーバでは、責任とサステナビリティを持って成長することを信条としています。そのためには、すべての従業員が、私たちの価値観（誠実さ、尊重、責任感、先駆性）とコードポリシーを体現する行動を取る必要があります。私たちのコードポリシーは、これらの譲れない基準を定め、従業員に何が求められているかを明確に示しています。私たちはこのコードを日々実践することで、価値観・行動・目的をあらゆる業務の中で体現しています。

私たちのコードは2つのパートで構成されています：

- ・**企業行動原則** – ユニリーバの従業員および取締役が日々の業務で守るべき主要な原則を定めています。
- ・**コードポリシー** – 企業行動原則を基に、私たちがどのように行動すべきかを詳細に説明しています。

なぜ私たちのコードを読むべきなのか？

ほとんどの従業員は、正しいことをしたい、同僚を大切にしたいという思いからルールを守っています。私たちのコードは、そのルールを明確に示すことで従業員をサポートします。コードに違反すると、怪我、懲戒処分、罰金、懲役刑・禁錮刑、評判の失墜など深刻な結果を招く可能性があります。コードを守ることは、あなた自身やコミュニティを守り、ユニリーバをより良い職場にします。

私がすべきことは？

すべての従業員は、ユニリーバに入社した際、またコードが更新されるたびに私たちのコードを読み、常にこれを守らなければなりません。

従業員は、ユニリーバで働く間、いつでもコードを参照して助けを求めることができ、疑問があればビジネス・インテグリティ部門に連絡することが推奨されています。また、コード違反の可能性や実際の違反については、コードについての報告窓口（Speak Up）を通じて報告する義務があります。

コードの実践に関する日々の責任は、グローバル、各地域、各国レベルのビジネスグループや部門のシニアマネジメントに委ねられています。ユニリーバの取締役会およびエグゼクティブ・コミッティー（ULE）は、コードを審査・承認し、これを遵守することを約束しています。取締役会は、コードを遵守した結果として生じたビジネス上の損失について、経営陣を非難しません。同様に、全てのユニリーバのリーダーは、コードを遵守する行動を取った従業員を非難するべきではありません。取締役会とULEは、これらの原則がユニリーバ全体で適用されることに責任を持っています。



「あなたが誰であっても、
どこにいても、
どんな仕事をしていても
適用されます。」

私たちのコードは誰のためのもの？

私たちのコードの遵守は、すべてのユニリーバの従業員、管理職、取締役に対して義務付けられています。あなたが誰であっても、どこにいても、どんな仕事をしていても適用されます。

「従業員」とは、国の法律や慣行に従い、ユニリーバと直接雇用関係にある個人を指します。「取締役」とは、ユニリーバのグローバル本社（ユニリーバPLC）の取締役会および他のユニリーバが管理する法人の非業務執行役員を指します。

企業行動原則

ユニリーバは、従業員、経営陣、取締役とともに、誠実に行動することを約束しています。これには、以下のビジネス原則を遵守することが含まれます：

私たちのコードポリシーと行動

腐敗防止

人権の尊重

情報の保護

社外との関わり



私たちのコードポリシーと行動

コードを実践する

私たちは、日々、私たちの価値観、コード、そしてすべてのコードポリシーに沿って行動します。違反の可能性や実際の違反を見つけた場合は声を上げます。声を上げたことによる報復は一切容認しません。

リーガル（法務部門）への相談

私たちは関連する法律や規制を遵守し、重要な契約交渉や締結、進行中または予想される法的措置、規制当局との協議などを含む重要な場面（ここに記載されているものに限定されません）で法務部門に助言を求めます。

責任あるリスク管理

私たちは、自分の役割に関連するリスクを特定し、評価し、管理します。

責任あるイノベーション、安全性と品質

私たちは、健全な科学・技術・責任あるイノベーションに基づき製品を設計・製造・販売し、消費者やカスタマーのために厳格な安全基準と優れた品質を適用します。

環境

私たちは環境への影響を減らすために取り組み、ネットゼロ排出、プラスチック廃棄ゼロ、そして強靭で再生可能な生態系の構築を目指しています。



汚職に立ち向かう

利益相反

私たちは利益相反を回避し、自分の個人的な利益や外部での活動がユニリーバの利益と相反する可能性がある場合は、直ちに開示します。

贈収賄防止および贈答・接待

私たちは、いかなる種類の賄賂も提供・受領・要求しません。これには、贈り物・接待・寄付・スポンサーシップで、意思決定に不適切な影響を与えることを意図したもの、または社内基準で定められた範囲を超えたものが含まれます。

政治活動および政治献金

私たちは、個人として行う場合を除き、政党を支援したり、政治献金を行ったりしません。

正確な記録、報告と会計

私たちは、会計および報告が正確であることを確保します。不正行為や脱税は一切容認しません。すべての取引は有効な書類に基づいて行います。

ユニリーバの資産の保護

私たちは、ユニリーバの資産を保護し、不正行為や盗難から守り、自分の権限の範囲内でのみ取引や業務での使用を承認します。また、ユニリーバのブランドやイノベーションを保護することで知的財産を守ります。第三者の有効な知的財産権については、適切なライセンスや承認を取得し尊重します。

マネーロンダリング防止および経済制裁

私たちはマネーロンダリングに関与せず、経済制裁の対象となっている個人や企業とは取引しません。すべての関連する貿易管理規則を遵守して事業を行います。



人に敬意を払う

健康と安全

私たちは、法令およびユニリーバの健康・安全基準を遵守し、健康で安全な職場を確保し、継続的な改善を目指します。

人権

私たちは人権を尊重し、すべての従業員を公平かつ敬意を持って扱うことを約束します。多様性、インクルージョン、機会均等、結社の自由、団体交渉が可能な環境づくりに努めます。ユニリーバは従業員に生活賃金を提供します。強制労働（あらゆる形態の強制労働、人身取引、児童労働を含む）は一切容認しません。

差別とハラスメント

私たちは性的ハラスメントを一切容認しません。また、保護された特性（人種、年齢、職務、性別、性自認、肌の色、宗教、出身国、性的指向、婚姻状況、扶養家族、障がい、社会的階級、政治的見解、その他法律で保護されている属性）に基づく差別、ハラスメント、いじめ、攻撃的な行為を、直接的であれ間接的であれ容認しません。従業員が不当または差別的な扱いについて懸念を提起したり報告したりできる明瞭で機密性が保たれる公平な仕組みを提供し、声を上げたことによる報復は一切容認しません。



情報の保護

テクノロジーと情報の保護とプライバシー

私たちは、ユニリーバのすべてのデジタル資産が安全であり、業務目的でのみ使用され、不適切な活動には使用されず、適切に管理されていることを確保します。ユニリーバのあらゆる情報を、分類・保管・保護・共有・更新・削除することで、プライバシーやセキュリティを含む自社基準および関連法令に従い守ります。

インサイダー取引の防止

私たちは、インサイダー情報を持っている場合、証券（株式など）の取引をせず、または他者に取引を勧めることをしません。



外部との関係を持つ

責任あるマーケティング

私たちは、正確に表示され、広告され、情報が伝達された製品を販売します。マーケティング活動や調査は、社会的な期待に沿って実施します。

公正な競争

私たちは公正に競争し、すべての競争法を遵守し、いかなる反競争的な行為にも一切関与しません。

社外との関与とコミュニケーション。私たちは、ブローカー（証券取引の仲介業者）、アナリスト、株主、メディア、政府、NGO、または規制当局と話す際は、事前に必ず研修を受け、承認を得てから実施します。

責任ある調達およびビジネスパートナーシップ

私たちは、私たちのコミットメントに沿った基準を守ることができるパートナーのみを選び、協働します。



コードポリシー

私たちの企業行動原則
(CoBP)に基づいて整理されたコードポリシーを紹介します。
各コードポリシーをクリックして、全文を確認しましょう。

コードの実践

リーガル（法務部門）への相談への相談

責任あるリスク管理

責任あるイノベーション

製品の安全性と品質

汚職に立ち向かう

利益相反の回避

贈収賄防止および贈答・接待

政治活動および政治献金

正確な記録・報告・会計

ユニリーバ資産の保護

マネーロンダリング防止と経済制裁

人に敬意を払う

健康と安全

尊重・尊厳・公正な扱い

情報の保護

テクノロジーと情報の保護

個人データとプライバシー

インサイダー取引の防止

外部との関係を持つ

責任あるマーケティング

公正な競争

社外との関与とコミュニケーション

責任ある調達とビジネスパートナーシップ

コードを実践する

私たちは、日々、私たちの価値観、コード、そしてすべてのコードポリシーに沿って行動します。違反の可能性や実際の違反を見つけた場合は声を上げます。声を上げたことによる報復は一切容認しません。

なぜ重要なのか

誠実さと説明責任をもって事業を運営することは、消費者の信頼を強化し、価値と理念を提供する責任ある企業としてのユニリーバの評判を高めます。私たちのコードに従わない場合、懲戒処分、ユニリーバに対する多額の罰金、個人の懲役刑・禁錮刑、そして評判の失墜といった重大な結果を招く可能性があります。

私がするべきことは？

- ・コードポリシーを含むすべてのコードを理解し、遵守する。
- ・必須トレーニングを修了する。
- ・ポリシーや行動の解釈に迷った場合は、直属の上司またはビジネス・インテグリティ部門に相談する。
- ・コードやコードポリシーの違反や違反が歌われるときは、コードについての報告窓口（Speak Up）（直属の上司、HR（人事）、リーガル（法務）、ビジネス・インテグリティ、または機密性が保たれるホットライン[電話・ウェブ]）を通じて報告する。
- ・懸念や違反を報告した人を支援し、その懸念を真剣に受け止め、機密を守り、調査に協力し、誰も報復を受けないようにする。
- ・報告窓口（Speak Up）には正直に報告する。正直ではない報告はコード違反となる。

管理職として私がするべきことは？

- ・模範を示し、すべての行動において誠実さを体現する。
- ・チーム全員がコードおよびコードポリシーに関するトレーニングを読み、修了していることを確認する。
- ・ビジネス・インテグリティ・オフィサーと連携し、懸念事項に対して適時かつ適切な対応を取る。

詳細情報はどこで確認できますか？

- Speak Upスタンダード
- ビジネス・インテグリティ部門、リーガル（法務）、人事
- グローバルポリシーポータル
- Speak Upホットライン



リーガル（法務部門）への相談

私たちは関連する法律や規制を遵守し、重要な契約交渉や締結、進行中または予想される法的措置、規制当局との協議などを含む重要な場面（ここに記載されているものに限定されません）で法務部門に助言を求めます。

なぜ重要なのか

ユニリーバの法務部門に助言を求ることで、すべての取引、契約、事業運営が規制要件を満たし、倫理的なビジネス活動であることが保証されます。また、潜在的な法的紛争、財務的損失、評判の失墜から組織を守ることにもつながります。

私がするべきことは？

- 法的リスクを特定した場合や違法行為が疑われる場合は、直ちに直属の上司に報告し、リーガルビジネスパートナーに助言を求める。
- ビジネス取引に関する契約、リース、ライセンス、取引に関する事項
- 雇用紛争や契約上のトラブルなどに関する、法的または行政上の対応
- 政府や規制当局とのやり取り
- 競争法に関する事項
- 報道向けコミュニケーション、
- 特にユニリーバの評判に影響を与えるもの、法的責任を生じさせるもの、または「インサイダー」情報や「価格に影響を与える」情報を含むもの
- 製品クレーム、マーケティング資料、ブランド、商標、意匠、特許、営業秘密、知的財産を含むサプライヤー契約に関する事項
- 競業避免義務、雇用紛争や解雇、標準的な契約にはない特別条件など、雇用関連の問題

- 製品の安全性、改ざん、偽造
- 法務組織やガバナンス体制。
- 贈収賄、腐敗、経済制裁に関する懸念
- 外部の法律専門家やコンサルタントに依頼する前に、必ずリーガルビジネスパートナーに相談する。
- すべての契約業務は契約基準に従い、リーガルビジネスパートナーによる確認を受ける。
- 法務部門の指示に従い、法務部門が違法だと判断したことは絶対に行わない。
- ユニリーバの法務部門が重大なリスクと判断した活動を進める場合は、必ずシニアラインマネージメントの承認を得る。



詳細情報はどこで確認できますか？

- リーガルビジネスパートナー
- リーガルスタンダードについてのグローバルポリシーポータル



責任あるリスク管理

私たちは、自分の役割に関連するリスクを特定し、評価し、管理します。

なぜ重要なのか

リスク管理は、ユニリーバが戦略や長期的な目標を達成するために不可欠です。グローバルからローカル、戦略的からオペレーションまで、リスクを理解し対応することで、より良い意思決定ができ、規制を遵守し、ビジネスを守り、価値を創出することができます。

管理職／シニアリーダー／プロジェクトリーダーとして私がすることとは？

- ・リスクを特定し定義し、対応策の責任を持つ。
- ・重大なリスクは関係するリーダーシップにエスカレーションする。
- ・主要なリスクとその管理方法を特定する包括的な年次ビジネスリスク評価を実施する。
- ・リスクは年次リスク管理プロセスだけでなく、継続的にモニタリングする。



詳細情報はどこで確認できますか？

- ・グローバルリスク＆コントロールディレクター
- ・リスクマネジメントハブ



責任あるイノベーション

私たちは、健全な科学、技術、そして責任あるイノベーションに基づいて製品を設計・製造・販売し、消費者とカスタマーのために厳格な安全基準と優れた品質を適用します。

なぜ重要なのか

イノベーションはユニリーバの成功の根幹です。消費者のニーズに応え、グローバルな課題に取り組むためには、責任ある、安全で持続可能な研究とイノベーションが不可欠です。信頼を得て長期的に消費者や社会に良い影響を与えるためには、誠実さ、公正さ、高い倫理基準も重要です。

私がすべきことは？

- ユニリーバのグローバル基準（安全性・サステナビリティ・倫理的責任）を遵守して、すべての研究とイノベーションを実施する。
- 消費者の安全、労働安全、環境安全に関するリスクは専門家による評価と管理を行う。
- 原材料、製品、包装の仕様が関連する法規制や基準に適合していることを確認する。
- ヒトを対象とする研究は最高水準の倫理基準で実施する。

- ユニリーバの動物実験廃止への取り組みを支持し、規制上必要な場合は事前承認を得る。
- 発表や出版は事前に承認を得る。
- データ、研究プロトコル、関連する意思決定など、すべての研究記録を完全かつアクセス可能な形で保管する。



詳細情報はどこで確認できますか？

- グローバルポリシーコンポーネント



製品の安全性と品質

私たちは、健全な科学、技術、そして責任あるイノベーションに基づいて製品を設計・製造・販売し、消費者とカスタマーのために厳格な安全基準と優れた品質を適用します。

なぜ重要なのか

ユニリーバは製品の安全性と品質を最優先し、すべての基準や規制を遵守しています。このコミットメントは消費者の信頼を築き、私たちのブランドを強化します。

私がすべきことは？

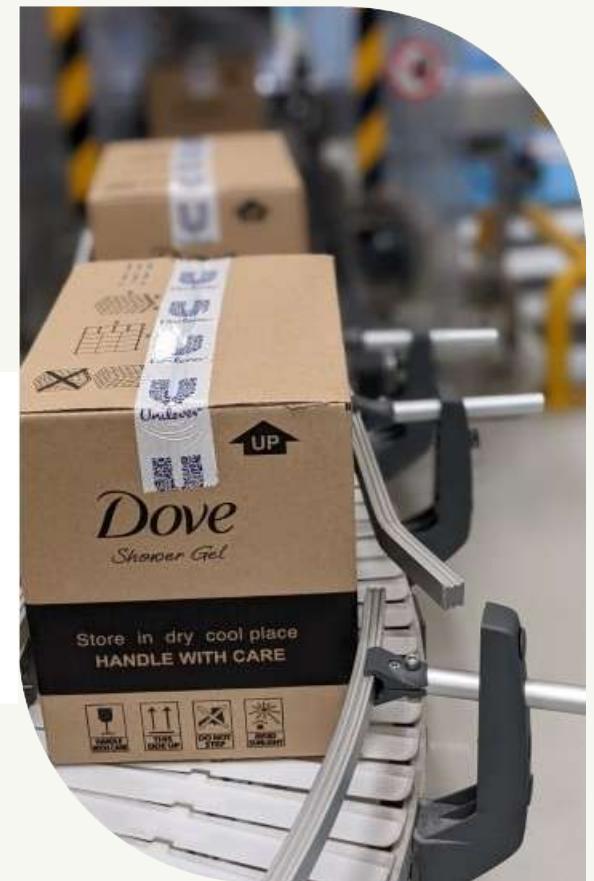
- ・品質マネジメント規格（QMS）およびシステムを適用し、維持することで、製品およびプロセスのパフォーマンスを設計・提供・監視・測定し、継続的に改善し、社内外の要件への適合を確保する。
- ・消費者、カスタマー、パートナーからのリスク、問題、フィードバックに対処する。品質や安全性の問題を防止し、基準や規制を満たさない製品のエスカレーションやリコールを行うために、積極的な措置を講じる。

- ・透明性、説明責任、タイムリーな懸念事項の報告を推進し、「品質第一」の文化を醸成する。懸念事項は直属の上司または品質責任者に報告する。
- ・製品の安全性に関する情報は責任を持って伝達し、正確な情報を共有する。エスカレーション手順に従い、外部からの問い合わせには事前承認を得て対応する。

詳細情報はどこで確認できますか？



- ・ローカルまたはグローバルのクオリティ・チーム
- ・QMSポータルおよびチャットボット
- ・クオリティ・ビジネス・スクール



利益相反の回避

私たちは利益相反を回避し、自分の個人的な利益や外部での活動がユニリーバの利益と相反する可能性がある場合は、直ちに開示します。

なぜ重要なのか

利益相反は、従業員の実際の、認識された、または潜在的な個人的・財務的・非財務的利益が、ユニリーバでの職務遂行における客観性がに影響を与える場合に発生します。こうした利益相反は、ユニリーバ、その事業、そして従業員の評判や業務の有効性に深刻な悪影響を及ぼす可能性があります。

私がすべきことは？

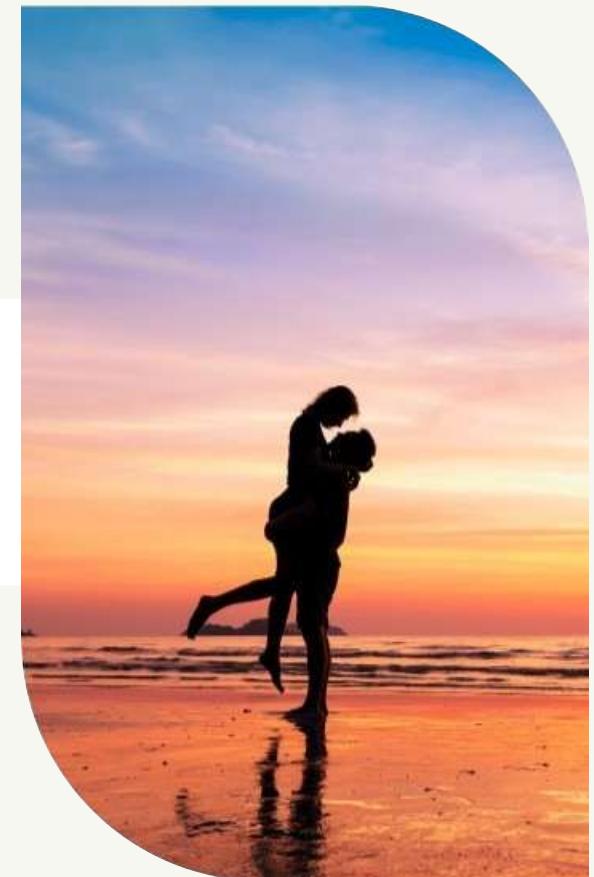
- 実際の、認識された、または潜在的な利益相反がある場合は、ビジネス・インテグリティ部門に報告します。これには次のような場合が含まれます：
 - 親しい個人的な関係がある人物について、採用する場合、部下としてチームに入る場合、または業務量、評価、承認、または報酬について影響を及ぼすことができる場合。
 - 公職を引き受ける、または務める場合、またはユニリーバの事業に影響を与える決定を下すことができる公職者である家族や親しい関係者がいる場合。
 - 競合他社やユニリーバに関連する第三者の事業に関して、重要な投資をしたり、ユニリーバと競合する製品に関する業務を引き受けるなど、個人的な利害関係を持っている場合。
 - 副業やその他の外部活動を引き受けようとし、それがユニリーバでの責任を果たす時間を奪う、またはユニリーバの利益と競合する場合。
 - 利益相反となる活動を開始または継続する前に、必ずビジネス・インテグリティ部門の承認を得る。

- ユニリーバの現在の競合他社や将来的に競合他社になりうる会社に関するビジネス上の機密情報を共有しない。
- 利益相反に関する基準を遵守する（元公務員の採用や他の組織の個人的な役員就任に関するルールを含む）。

詳細情報はどこで確認できますか？



- ビジネス・インテグリティ部門
- グローバルポリシーportal
- 利益相反開示アプリ



贈収賄防止および贈答・接待

私たちは、いかなる種類の賄賂も提供・受領・要求しません。これには、贈り物・接待・寄付・スポンサーシップで、意思決定に不適切な影響を与えることを意図したもの、または社内基準で定められた範囲を超えたものが含まれます。

なぜ重要なのか

贈収賄や腐敗行為は違法であるだけでなく、ユニリーバの評判を損ない、信頼を失わせ、罰金や懲役刑・禁錮刑、ビジネスの喪失など深刻な結果を招く可能性があります。すべてのやり取りで誠実に行動することが、あなた自身とユニリーバを守ることにつながります。

私がするべきことは？

腐敗防止と贈収賄：

- 公務員やその他の個人・第三者に対して、ユニリーバに関する意思決定に影響を与える、またはそのような印象を与える便宜供与を含む賄賂や不適切な利益を申し出たり、与えたりしない（ただし、自分の自由や身体の安全が脅かされている場合は例外）。
- ユニリーバの意思決定に影響を与える可能性のある第三者との間で、賄賂や不適切な利益を要求せず、また受領しない。
- サプライヤーの登録、発注、特別取引条件・割引・リベートの提供／受領など、ユニリーバのサードパーティー（取引先）に関するプロセスや財務プロセスをすべて遵守する。
- 違反行為または違反が疑われる行為については「コードを実践する」のポリシーに従って報告する。

贈答・接待：

- すべての贈答・接待は正当かつ適切な範囲で、頻度も限られたものであり、現金やギフトカード、金銭の貸し借り、株式、宿泊、海外旅行などは避ける。
- 上限を超える贈答・接待や、公務員への贈答・接待は必ず報告する。詳細は「贈答・接待基準」に定められている。
- 「贈答・接待基準」で定められた範囲外の贈答・接待は、開示ツールを通じて例外承認がない限り辞退する。

詳細情報はどこで確認できますか？

- ビジネス・インテグリティ部門
- グローバルポリシーサーポータル
- 贈答・接待開示アプリ



政治活動と政治献金

私たちは、個人として行う場合を除き、政党を支援したり、政治献金を行ったりしません。

なぜ重要なのか

Unileverは事業運営の一環として政府と関わります。いかなる政治的な関与も、利益相反の印象を与えたり、ユニリーバの事業に損害を与える可能性があります。

私がすべきことは？

- ユニリーバの名義で政治献金を行ったり、支援を提供したりしない。個人的に政治団体を支援する場合は、それがユニリーバと無関係であり、各自の業務に影響を与えないことを明確にする。
- ユニリーバの利益と相反する可能性のある個人的な政治的役職や関係については、「利益相反の回避」のコードポリシーに従って開示する。政府によって設立された経済、業界、または社会的な諮問グループでユニリーバを代表する前に、「外部コミュニケーション・スタンダード」にしたがって承認を求めてください。



詳細情報はどこで確認できますか？

- 外部コミュニケーション・スタンダード
- グローバル・ポリシー・ポータル



正確な記録・報告と会計

私たちは、会計および報告が正確であることを確保します。不正行為や脱税は一切容認しません。すべての取引は有効な書類に基づいて行います。

なぜ重要なのか

正確な財務記録や事業情報は、適切な意思決定、法的・規制上の義務の履行、ステークホルダーの信頼維持に不可欠です。不正確または誤解を招く記録は不正行為に該当する可能性があり、従業員やユニリーバに法的または財務的な罰則をもたらすことがあります。

私がすべきことは？

- 承認された発注書（PO）がない限り、財務上のコミットメントや業務開始をしない。
- 発注書（PO）を分割しない。
- 商品やサービスが納品されていない限り、発注書（PO）の受領処理をしない。
- 発注書（PO）や旅費・経費の詳細を、提出または承認前に必ず確認する。
- 予算（取引割引やリベートを含む）が監視され、レビューされていることを確保する。
- すべての取引を正確かつ完全に、期限内に記録する。
- 自分が承認された業務のみを実施し、その業務が正当かつ適切な証憑に基づいていることを確認する。

- 自分が承認する取引がグローバル権限規程で定められた範囲内であり、正当かつ有効な証憑に基づいていることを確認する。
- 不正、脱税、または会計上の問題が疑われる場合、ビジネス・インテグリティ部門および財務責任者に報告する。また、ビジネスパートナーやその他の第三者の行動によって示される懸念事項や便宜供与のための支払い要求についても報告する。
- 法令や社内ポリシーの要件や指示に従い、監査、訴訟、規制当局による調査などの目的のために、業務記録を保持する。
- 内部・外部監査人、税務当局、他の規制当局に対して、誠実かつ全面的に協力する。
- 会社の記録や証憑を隠蔽、改ざん、または偽造しない。
- 会計期間をまたいで売上や利益を人為的に増加または移動させない。

ファイナンス担当者がすべきことは？

- 会計、監査、税務、環境に関する手続き、プロセス、基準、法律を自発的に遵守する。
- すべての該当する外部報告基準・規制・社内の会計方針マニュアルを遵守し、会計記録の根拠となる前提を慎重に文書化する。
- 隠し口座や未記録の資金、資産を持たない。

詳細情報はどこで確認できますか？



- ローカル購買発注ヘルプデスク
- ユニリーバの財務ポリシーおよび基準
- ビジネス・インテグリティ部門、法務部門または財務部門

ユニリーバの資産の保護

私たちは、ユニリーバの資産を保護し、不正行為や盗難から守り、自分の権限の範囲内でのみ取引や業務での使用を承認します。また、ユニリーバのブランドやイノベーションを保護することで知的財産を守ります。第三者の有効な知的財産権については、適切なライセンスや承認を取得し尊重します。

なぜ重要なのか

資産の不正使用、盗難、損傷は、業務の中止、法的問題、評判の低下につながる可能性があります。ユニリーバの資産を守ることは、事業継続性の確保、財務の安定、イノベーションの維持、競争優位性の保護につながります。

私がするべきことは？

すべての資産について：

- 工場設備、製品、建物、コンピューター、車両など、ユニリーバの物的資産を丁寧に取り扱い、損傷、不正使用、紛失を防ぐ。
- ユニリーバの物的資産を保護し、盗難や紛失があれば現場のSHEマネージャーに報告する。
- 権限がない限り、会社の資産を現場から持ち出したり、不適切に使用したりしない。
- 各拠点の資産に対する潜在的な危険を特定・管理し、リスクを許容範囲まで低減する。
- 現金、銀行口座、クレジットカードなどの財務資産を不正使用、紛失、詐欺、盗難から守り、異常があれば直ちに直属の上司に報告する。

- 自分の職務範囲で定められた範囲内でのみ、財務取引を承認し、グローバル権限規程に従う。

- サイバーセキュリティ基準と管理策を組み込むことで、サイバーセキュリティ上のリスクに対応する（特にテクノロジーソリューションを導入する場合や購入する場合）。

知的財産（IP）について：

- 商標、特許、意匠、著作権、ドメイン名などに関する模倣品や侵害の疑いがあれば、ビジネスグループまたはIPカウンセルに報告する。
- 新しいイノベーション、ブランド、サブブランド、製品、サービス、その他の資料を開発する際は、特許、商標、意匠、著作権、その他の知的財産権の確認と出願を必ず行う。

- 第三者と協働する際は、ユニリーバの知的財産を守るために適切な条項を含む契約を使用する。
- 適切なライセンスなしに、有効な第三者の知的財産（音楽、動画、テクノロジー、商標、特許、フォント、ソフトウェアなど）を使用しない。有効かどうか不明な場合は、リーガルビジネスパートナーに相談する。ユニリーバが承認していない第三者の生成AIやその他の第三者LLMに、ユニリーバの知的財産や機密情報（営業秘密、意匠、特許、商標などを含む）を学習させない。

詳細情報はどこで確認できますか？



- 現場のSHEマネージャーまたはリーガルビジネスパートナー
- サイバーセキュリティ基準
- 知的財産基準

マネーロンダリング防止と経済制裁

私たちはマネーロンダリングに関与せず、経済制裁の対象となっている個人や企業とは一切取引を行いません。すべての関連する貿易管理法を遵守して事業を行います。

なぜ重要なのか

犯罪行為による収益に、たとえ無意識であっても関与すると、マネーロンダリングという重大な犯罪で起訴されるなど、深刻な法的責任を招く可能性があります。経済制裁およびマネーロンダリング防止に関する法律を厳格に守ることは、ユニリーバの評判を守り、個人の刑事責任を回避することにもつながります。

私がするべきことは？

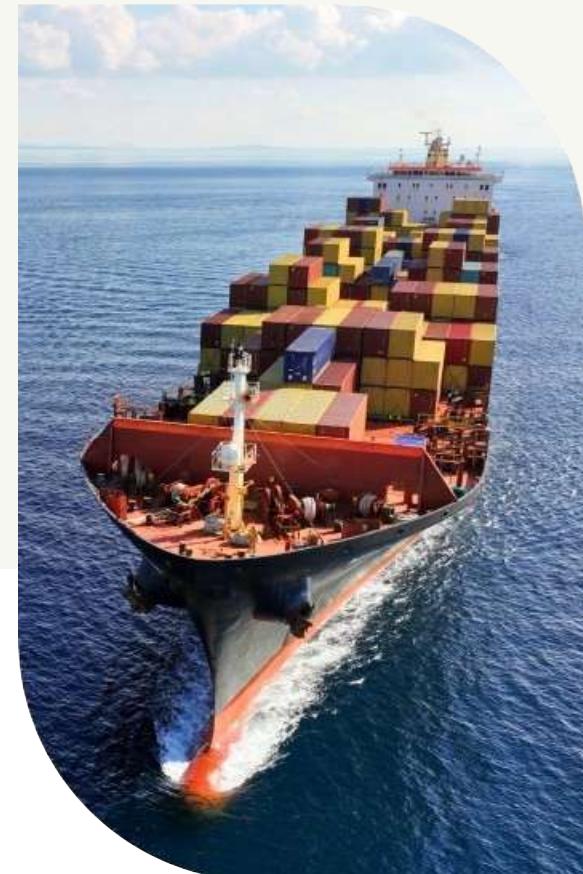
- ・経済制裁基準で定められた関連する経済制裁の対象となる相手先とは一切取引を行わない。そのために、正式なサードパーティのオンボーディング（導入）プロセスに従って取引先を登録する。
- ・マネーロンダリングの疑いがある活動や、制裁対象国・第三者との取引が疑われる場合は、直ちに所属するビジネスグループと所属する国のジェネラルカウンセルに報告する。
- ・取引先名や国と一致しない口座への支払い、現金払い、過払い、複数の銀行口座に分割した支払いなど、通常の取引条件外の取引を行う場合は、事前に所属するビジネスグループおよび所属する国のジェネラルカウンセル、シニアファイナンスマネージャーの承認を得る。

- ・契約締結や取引実行前に、サードパーティの審査を実施し、問題があれば完全に解決する。これが実施されていると決めつけない。
- ・マネーロンダリングの疑いがあるサードパーティに対し、調査中であることを知らせない。
- ・審査結果が不明確な場合や追加の精査が必要な場合は、ビジネス・インテグリティ部門に相談する。
- ・経済制裁の観点から自分が利害関係を回避する必要がある場合（例：自分が米国市民の場合）は、ビジネス・インテグリティ部門に開示する。

詳細情報はどこで確認できますか？



- ・経済犯罪や制裁についての担当ジェネラルカウンセル (General Counsel for Economic Crime and Sanctions)
- ・グローバルポリシーソーラーチャート
- ・開示ツール



健康と安全 (1/2)

私たちは、法令およびユニリーバの健康・安全基準を遵守し、健康で安全な職場環境を確保し、継続的な改善を目指します。

なぜ重要なのか

安全でない、または健康を害する行動や慣行は、病気やけが、環境への悪影響、さらには命を落とす原因となる可能性があります。自発的に健康と安全を重視する文化は、人や財産、地域社会、そして環境を守ります。すべての個人が、安全で支え合う職場づくりに貢献しています。

私がすべきことは？

- ・自分の役割に関連するすべての法律、規則、ポリシー、基準、手順、指示、研修を守り、安全かつ健康を意識した行動・勤務を行う。
- ・職場に武器を決して持ち込まない。
- ・訓練を受け、能力があり、健康で、十分に休養を取り、機能的に問題なく、そして注意力が保たれているときにのみ業務を行う。
- ・自分の勤務地、他の拠点を訪問しているとき、または出張中に緊急事態が発生した場合に何をすべきかを把握しておく。実際に発生した事故やヒヤリハット、不安全な状況、けが、病気、健康を害する状況は、必ず遅滞なく現地のユニリーバの管理者に報告する。他の誰かが報告するだろうと決めつけない。
- ・チームリーダーをサポートし、すべての従業員、契約業者、訪問者が健康と安全の手順や指示を理解し、遵守できるようにする。
- ・ライフケアリティカルスタンダード（生命に関わる重要基準）を決して破らない。
- ・自己や他人の健康と安全に悪影響を及ぼす可能性のある物質（薬物やアルコールなど）の影響下で、決して業務を行わない。危険な状態や健康を害する状態になった作業は、決して続けない。
- ・これらの最低要件を満たせるかどうか、または環境が安全・健康でないと感じた場合は、必ず声を上げる。



健康と安全 (2/2)

チームリーダーとしてすべきことは？

- ・自分のサイトおよびチームに適した安全衛生管理システムを確立・維持する。これには、委員会、管理者、有能な専門家の任命、従業員、契約業者、訪問者からの懸念や意見を収集する仕組みの導入が含まれる。
- ・すべてのチームとサイトの運営、活動、緊急事態、サービスに関連する安全衛生上の危険とリスクを特定し、管理する。
- ・現地の安全衛生に関する法令とユニリーバの関連基準への遵守状況を定期的に確認する。
- ・サイトと役割のそれぞれについての改善目標を設定し、パフォーマンスを監視する。これには、管理システムの有効性と妥当性の年次レビューが含まれる。
- ・ユニリーバの健康と安全報告システムを通じて、必須の主要業績評価指標（KPI）を報告する。

- ・すべての事故、インシデント、ヒヤリハットを報告要件に従って調査・報告し、フォローアップと学んだ教訓の共有を行う。
- ・サイトおよび役割に応じた緊急対応計画を維持・伝達・テストする。
- ・すべての従業員、契約業者、訪問者が、該当する緊急通知、手順、役割に特化した安全衛生情報、さらに現地の言語での研修を受けられるようにする。
- ・リスク、懸念、事故の報告を個人に思いとどまらせたり、不安全または不健康な環境で作業を開始・継続するよう求めたりしない。



詳細情報はどこで確認できますか？

- ・安全衛生マネージャー
- ・各拠点の安全衛生管理システム
- ・グローバル健康と安全基準（ライフケアクリティカル基準）



尊重・尊厳・公正な待遇 (1/2)

人権：私たちは人権を尊重し、すべての従業員を公平かつ敬意をもって扱うことを約束します。私たちは、多様性、インクルージョン、機会均等、結社の自由、そして団体交渉を可能にする環境の構築を目指します。ユニリーバは従業員に生活賃金を提供します。私たちは、強制労働、義務的労働、人身取引による労働、児童労働を含むいかなる形態の強制労働も一切容認しません。

差別とハラスメント：私たちは性的ハラスメントを一切容認しません。また、保護された特性（人種、年齢、職務、性別、性自認、肌の色、宗教、出身国、性的指向、婚姻状況、扶養家族、障がい、社会的階級、政治的見解、その他法律で保護されている属性）に基づく差別、ハラスメント、いじめ、攻撃的な行為を、直接的であれ間接的であれ容認しません。従業員が不当または差別的な扱いについて懸念を提起したり報告したりできる明瞭で機密性が保たれる公平な仕組みを提供し、声を上げたことによる報復は一切容認しません。

なぜ重要なのか

ユニリーバは、人権が尊重され、かつ促進される社会においてのみ、事業は持続的に成長し得ると確信しています。ユニリーバは、従業員が、包括的であり、差別のない、そして相互の信頼に基づく環境で勤務できることを確保します。

私がすべきことは？

- ・職場のすべての人の尊厳と人権を尊重する。
- ・保護された属性（人種、年齢、職務、性別、性自認、肌の色、宗教、出身国、性的指向、婚姻状況、扶養家族、障がい、社会的階級、政治的見解、その他法律で保護されている属性）に基づく差別をせず、公平かつ平等にすべての人を扱う。
- ・攻撃的、威圧的、悪意のある、暴力的、侮辱的、またはいかなる種類のいじめとなり得る行為を回避し、これに異議を唱える。これには、性的嫌がらせに対する一切容認しない方針が含まれ、具体的には、不適切な冗談、わいせつな発言、性的な画像、またはコミュニティからの排除を含む。
- ・従業員が尊厳をもって扱われ、懸念事項を迅速かつ公平に、報復なく提起・対処できる文化を推進する。



尊重、尊厳、公正な待遇 (2/2)



ラインマネージャーとしてするべきことは？

- すべての業務は、従業員が理解し、雇用期間を通じて利用できる、自由に合意され文書化された条件に基づいて行われることを確保する。。
- 従業員が職を得る過程で、採用手数料や関連費用を直接または間接的に支払っていないことを確保し、支払いが確認された場合は返金を手配すること。
- 法的または業界基準のうち高い方を満たす、またはそれを超える公正かつ公平な賃金を提供する。これには団体交渉協定で定められた条件も含まれ、従業員が適切な生活水準を維持できるようにする。

- 支払期間ごとに給与明細を交付し、賃金の正確な金額、時間給の場合は通常勤務時間と残業時間、福利厚生、インセンティブ／ボーナス、合意された控除項目などの賃金の構成要素を明確に記載する。法定控除以外の控除は、従業員の書面による同意が必要とする。
- 労働時間は、通常勤務と残業を合わせて、現地の法定上限または週60時間のいずれか少ない方に制限し、残業はすべて従業員の自由意思によるものとする。詳細は「健康と安全に関するポリシー」を参照。
- 採用、報酬、福利厚生、昇進、整理、研修など、雇用に関するすべての判断は、能力と実績に基づいて行う。
- 従業員が法的に認められた労働組合やその他の代表機関を結成または加入する権利を尊重し、従業員に影響する事項について、建設的な対話と誠意ある交渉を行う。

- 臨時・短期・派遣の従業員に関しては、現地の法的要件を遵守する。
- 採用プロセスにおいて適切な本人確認を行い、児童労働がないことを確認する（児童労働とは、15歳未満または法定労働年齢・義務教育年齢のうち高い方の年齢未満の者を指す）。
- 18歳未満の若年労働者には、精神的・身体的・社会的・道徳的に危険な業務や、学校に通う機会を奪う業務をさせないようにする。



詳細情報はどこで確認できますか？

- 現地の人事部門 (HR)
- グローバルポリシーコンソーシアム

技術と情報の保護 (1/2)

私たちは、ユニリーバのすべてのデジタル資産が安全であり、業務目的でのみ使用され、不適切な活動には使用されず、適切に管理されていることを確保します。私たちは、ユニリーバの情報を、分類・保管・保護・共有・更新・削除の各プロセスを、プライバシーやセキュリティを含む自社基準および関連法令に従って行うことにより保護します。

なぜ重要なのか

ユニリーバは、従業員および承認されたパートナーが業務を効果的に遂行できるよう、技術と情報へのアクセスを提供しています。しかし、誤用や不注意な使用は、システムのパフォーマンスに影響を与え、法的義務の違反やサイバーセキュリティの侵害につながる可能性があります。情報の適切な分類・取り扱い・保護は、信頼の維持、事業継続、法令・規制の遵守、個人の権利保護にとって極めて重要です。

私がするべきことは？

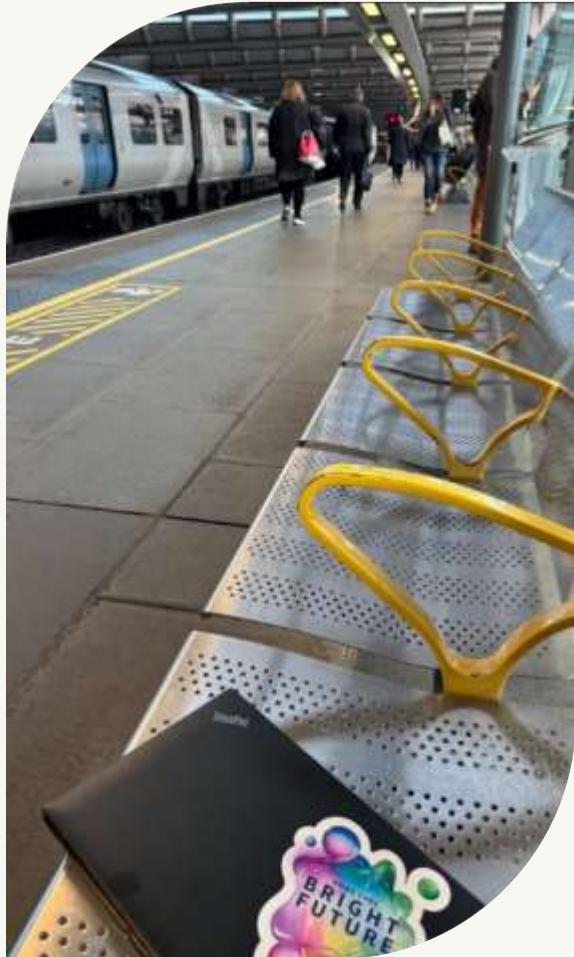
情報の取り扱い：

- 各情報を、情報分類基準に従い、「公開」「内部」「機密」「制限付き」に分類する。
- 情報取扱基準に定められた要件に従い、どの種類の情報を誰と共有できるかを理解し、情報の利用・共有・保管・保護・廃棄について個人として責任を持つ。
- ユニリーバの情報は、業務上必要な場合に限り、関係者および承認された第三者と、正当な業務目的または法的要件に基づいて共有する。
- ユニリーバの情報を個人のメールアカウントやストレージに転送したり、ユニリーバが管理していないデバイスに同期したり、USBなどのリムーバブルメディアを使用したりしない。

- 非公開情報（例えば、機密情報）を、承認されていない技術、コラボレーションツール、メッセージングツールで共有しない。
- ユニリーバの価値観、適用される法律、人権としてのプライバシー尊重に従い、ユニリーバが発行または所有するシステムや機器上で処理または保存されるすべての情報（および個人デバイス上のユニリーバの情報）は、事前通知なしにユニリーバによって監視、検査、または削除される場合があることを理解する。ユニリーバは、このポリシーが遵守されていることを確認し、ユニリーバの技術環境を最適化し、リスクを管理するために、ユニリーバのシステム上の活動やデータを記録、診断、調査、評価することがある。



技術と情報の保護 (2/2)



機器とテクノロジー：

- 情報の共有と管理には、ユニリーバが承認したテクノロジーのみを使用し、公共の場で作業する際は特に注意を払う。
- 承認されたアプリケーションのみをインストールし、SaaS（サービスとしてのソフトウェア）やAIを含む承認されたサービスのみを使用する。
- 業務用機器は適切に使用し、損傷・盗難・紛失から保護する。
- 使用していない機器や文書は安全に保管する。場所を問わず、放置する際は必ずパスワードやPINでロックする。
- ユニリーバのアクセス認証情報を他人と共有しない。他の場所でユニリーバのパスワードを使用しない。業務以外の目的でユニリーバのIDを使用しない。
- ユニリーバのテクノロジーの個人的な使用が、過剰なストレージやデータ使用など、パフォーマンスに重大な影響を与えないようにする。

- 不審なサイバー問題や活動（例：不正な情報共有、予期しない認証通知など）が疑われる場合は、セキュリティインシデントとして報告すること。
- ユニリーバの情報にアクセスするために使っていたデバイス（ユニリーバ所有または個人所有）が紛失・盗難に遭った場合は、直ちにセキュリティインシデントとして報告すること。

悪意ある行為：

- 自分の役割に関係のないユニリーバの技術や情報、またはユニリーバを退職した後に、それらへ意図的にアクセスしてはならない。セキュリティ制御（例：ブラウザ設定、ウイルス対策、特権アクセス、ファイアウォール、システムログ）を無効化・回避・妨害してはならない。
- システムを、違法な活動、重大または広範な不快感を引き起こすおそれのある活動、または暴力、テロ、ポルノ、侮辱的な内容に関する活動に使用してはならない。

テクノロジーの所有・調達・運用、または第三者の管理を行う場合：

- サイバーセキュリティ基準を正しく適用し、責任をもってサイバーセキュリティゾーンに記載されたプロセスを遵守して、サイバーセキュリティリスクに対応する。



詳細情報はどこで確認できますか？

- ビジネス情報セキュリティオフィサー
- サイバーセキュリティ基準
- サイバーセキュリティゾーン（サイバインシデントの報告も含む）

個人データとプライバシー

私たちは、ユニリーバのすべてのデジタル資産が安全であり、業務目的で使用され、不適切な活動に使用されず、適切に維持されることを確保します。私たちは、プライバシーとセキュリティを含む関連法規および当社の基準に従って、ユニリーバのあらゆる情報を分類、保管、保護、共有、更新、削除することで守ります。

なぜ重要なのか

個人データの保護は、プライバシーという人権を尊重するための基本です。これは従業員、消費者、パートナーとの信頼構築につながります。データやAIの不適切な取り扱いは、差別、情報漏洩、評判の失墜、法的問題を引き起こすことがあります。

私がするべきことは？

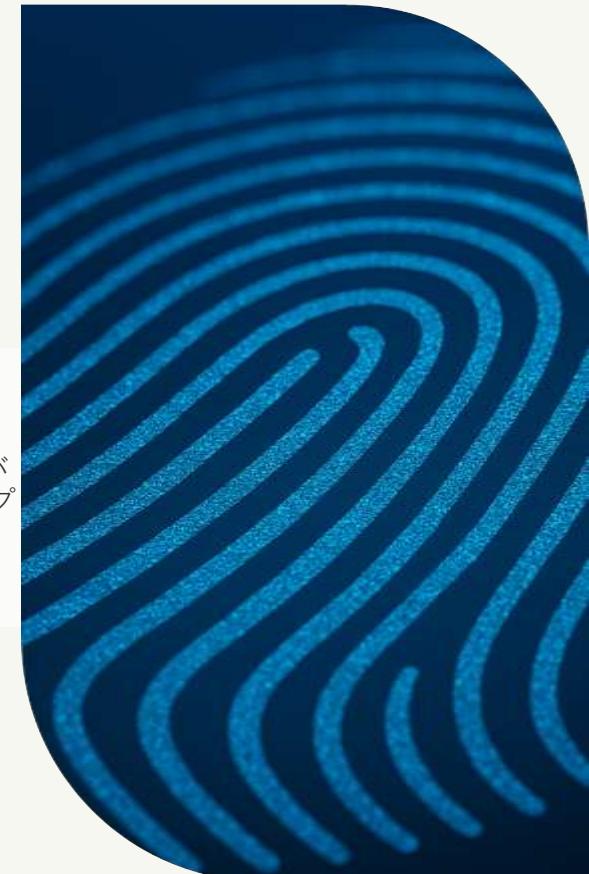
- 目的に必要な範囲で、適かつ必要な個人データのみを収集すること。
- 個人に対して、そのデータがどのように利用されるかについて透明性を確保し、ユニリーバのプライバシー通知に沿っていることを確実にする。
- 個人データは、個人の同意など現地法に従った方法により、明確で正当な目的のために収集されることを確保する。
- 個人データは安全に、機密性を保ち、正確かつ最新の状態に維持し、修正の要請があれば対応する。
- 目的が達成された後、または法的要件に従って、不要となった個人データは削除する。

- 個人データを使用する際には、個人に対する潜在的な害を考慮し、そのリスクを軽減するための措置を講じる。
- AIの出力結果について、正確性、信頼性、公平性を確保するために確認し、プライバシーとセキュリティを優先するユニリーバの機密情報や個人データを、公開されているAIツールに入力しないこと。

詳細情報はどこで確認できますか？



- 現地のデータプロテクションアドバイザー (DPA) またはグローバルプライバシーチーム
- プライバシー基準



インサイダー取引の防止

私たちは、インサイダー情報を持っている場合、証券（株式など）の取引をせずや、または他者に取引を勧めることをはしません。

なぜ重要なのか

インサイダー情報を使って取引したり、不適切に共有したりすることは、多くの国で犯罪とされており、罰金、懲役、評判の失墜につながる可能性があります。ユニリーバのような上場企業において、インサイダー情報とは、公開されていない、具体的な性質を持ち、公開された場合に株価に重大な影響を与える可能性のある情報を指します。ユニリーバに関するインサイダー情報にアクセスした場合、インサイダリストに追加され、通知されます。自分が持っている情報がインサイダー情報かどうか不明な場合は、インサイダー情報であると仮定するか、その情報を提供した人物に確認してください。

私がすべきことは？

- ・インサイダー情報を保有している間は、自分自身または他人のためにユニリーバの証券（株式、米国預託証券(ADR)、関連デリバティブ、スプレッドベッティングなど）を取り扱い、他人に取引を勧めたりしない。
- ・インサイダー情報（ユニリーバの株価に重大な影響を与える可能性のある非公開情報）を、その情報を受け取る権限のない人物（ユニリーバの他の従業員を含む）に共有しないこと。
- ・詳細については、「株式取引基準」および「情報開示マニュアル」を参照するか、コーポレートセクレタリー部門に問い合わせること。
- ・インサイダー情報が情報を受け取る権限のない人物に共有された、または不正に使用されていると疑われる場合は、直ちに情報開示委員会のメンバーに報告すること。

- ・上場企業の株価操作や虚偽情報の拡散に関与しないこと。

- ・ユニリーバの情報は、正当な業務目的または法的要件に基づいてのみ使用すること。

- ・ユニリーバの制限情報またはインサイダー情報の使用に関する懸念がある場合は、ライスマネージャーまたはビジネス・インテグリティ部門に報告すること。

詳細情報はどこで確認できますか？



- ・ユニリーバの「株式取引基準」および「情報開示マニュアル」
- ・コーポレートセクレタリー部門またはリーガル（法務部門）
- ・情報開示委員会のメンバー



責任あるマーケティング

私たちは、正確に表示され、広告され、情報が伝達された製品を販売します。マーケティング活動や調査は、社会的な期待に沿って実施します。

なぜ重要なのか

マーケティングには社会に影響を与える力があるため、思慮深く、敬意を持って実施する必要があります。責任あるマーケティングは、ユニリーバの評判を守り、消費者の信頼を築き、法的・倫理的基準の遵守を確保し、ユニリーバの戦略と価値観を反映します。

マーケティング活動に関わる場合にするべきことは？

- 関連するすべてのマーケティングに関する法を遵守する。
- ユニリーバの製品やサービスを、真実かつ正確で透明性のある方法で説明する。
- 消費者が十分な情報に基づいて判断し、製品やサービスを正しく使用できるよう、明確で誠実な情報を提供すること。誤解を招く画像・情報・専門用語（AI生成コンテンツを含む）は使用しない。
- すべてのマーケティングクレーム（訴求）には、十分な裏付けを持たせる。
- ユニリーバのマーケティング原則および基準を遵守すること。特に、子ども向けマーケティング、AIによる合成人物の使用、ソーシャルメディアの利用において遵守する。

- 環境法やユニリーバの環境に関するコメントに違反するマーケティング計画を作成しないこと。
- マーケティング活動において、文化的・社会的・倫理的・宗教的な配慮を示すこと。
- 重大または広範な不快感を引き起こすおそれのあるテーマ、画像、またはメディア配置、あるいは暴力、ポルノ、侮辱的な内容に関連するものを使用してはならない。。

詳細情報はどこで確認できますか？



- ラインマネージャーまたはリーガルビジネスパートナー
- 社内のマーケティング・ブランドガイドライン



公正な競争

ユニリーバでは、公正な競争を行い、すべての競争法を遵守し、反競争的な行為には一切関与しません。

なぜ重要なのか

ユニリーバは、公平で競争力のある環境で競い、勝つことにコミットしています。競争法に違反すると、巨額の罰金や民事損害賠償、個人への刑事制裁、ユニリーバの評判の失墜など、重大な結果を招く可能性があります。公正な競争は、カスタマー、サプライヤー、パートナーとの信頼構築にもつながります。

私がすべきことは？

- ・自分の市場およびカテゴリーに関する競争法を遵守し、適用される法律および競争基準を理解し従う。これには、業界団体や欧州域内取引に関する規定を含む。
- ・競合他社と、価格、販売・購入条件、コスト、カスタマー・サプライヤー・地域の割り当て、マーケティングクレーム、給与や報酬など、消費者や従業員にとって重要な競争要素について話し合ったり、合意したりしないこと。
- ・競合他社との間で、商業的に機密性の高い情報を共有・受領する場合は、競争基準の範囲内、または法務部門との事前相談の上で行うこと。
- ・現在のまたは潜在的な競合他社との共同購買・交渉、標準化、ESGパラメータ、研究開発、生産、商業化などの協力プロジェクトに参加する前に、法務部門と連携する。特に再販価格、プロモーション、販売地域などに関する再販活動の制限を検討する場合は、法務ビジネスパートナーに相談すること。
- ・第三者や新規入社者の法的または契約上の秘密保持義務に違反するおそれのある方法で情報を取得・使用しないこと。

シニアマネージャーがすべきことは？

- ・自分のチームやユニリーバを代表して行動する第三者が、「公正な競争に関する規定と基準」を理解していることを確保すること。



詳細情報はどこで確認できますか？

- ・法務ビジネスパートナーまたは競争法チーム
- ・競争基準

外部との関わりとコミュニケーション (1/2)

私たちは、ブローカー（証券取引の仲介業者）、アナリスト、株主、メディア、政府、NGO、または規制当局と話す際は、事前に必ず研修を受け、承認を得てから実施します。

なぜ重要なのか

ソーシャルメディアでのコミュニケーションや外部関係者（証券会社、アナリスト、株主、メディア、政府、NGO、規制当局など）とのコミュニケーションにはリスクが伴います。対応を誤ると、誤情報の拡散、法的リスク、評判の損失、規制上の問題につながる可能性があります。責任ある透明性のある関わり方は、信頼を築き、ユニリーバの事業継続と成長のためのライセンスを守ることにつながります。

私がすべきことは？

すべての外部コミュニケーションにおいて：

- ・共有する情報の正確性と真実性を確保すること。
- ・外部とのコミュニケーションではユニリーバの評判を考慮し、「ソーシャルメディア基準」に定められたルールを適用すること。
- ・特定のトピックについて連絡を取る前に、関連チームの承認を得る。例えば、財務、法務、税務、年金に関する事項を議論する前には現地のファイナンスまたは法務チームに連絡し、製品、原材料、コンプライアンスについて規制当局に連絡する前にはレギュラトリーアフェアーズ (RA) に連絡し、NGOに連絡する前には現地のコミュニケーション、コーポレートアフェアーズとサステナビリティチームに連絡する。

政府関係者、規制当局、NGOとの関わりにおいて：

- ・適切な研修を受け、ラインマネージャーからの承認を得ている場合のみ関与する。
- ・当局との連絡ややり取りの記録を保持する。
- ・ユニリーバの利益を代表して連絡を取る場合は、「外部関係者との関わり基準」に定められたプロセスに従って事前承認を得る。定期的な連絡が業務の一部である場合は、継続的な承認を取得する。
- ・予告なしの監査や検査に備え、現場の手順を把握し、責任者が誰かを明確にしておく。



外部との関わりとコミュニケーション (2/2)



証券会社、アナリスト、株主、メディアとの関わり：

- ・メディアや投資関係者とのコミュニケーションは、広報・コーポレートアフェアーズ部門、IR（投資家対応）部門からの明確な承認と研修・説明を受けている場合、または取締役会メンバーである場合に限り行う。
- ・自分の権限に関連する条件や制約を遵守する。これには、誰と、いつ、どのようにコミュニケーションを取るかが含まれる。
- ・投資家コミュニティやメディアからの問い合わせは、IR部門または広報・コーポレートアフェアーズ部門に必ず転送し、決して直接対応したり、インサイダー情報を共有したりしない。可能な限り、メディア対応には広報・コーポレートアフェアーズ部門のメンバーが同席する。

詳細情報はどこで確認できますか？：



- ・広報・コーポレートアフェアーズ・サステナビリティ部門、または製品安全・規制対応部門
- ・グローバルポリシーポータル
- ・責任ある調達およびビジネスパートナリング

責任ある調達とビジネスパートナーシップ

私たちは、私たちのコミットメントに沿った基準を守ることができるパートナーのみを選び、協働します。

なぜ重要なのか

ユニリーバは、ビジネスパートナーがそれぞれの事業に適した独自のコードやポリシーを持ち、ユニリーバと同等の基準を満たすこと、そして同様の要件をサプライチェーン上流にも適用することを期待しています。「レスポンシブル・パートナー・ポリシー（RPP）」は、すべての第三者が満たすべき必須要件を定めています。これらの基準を満たさない場合、ユニリーバにとって法的・評判上のリスクや、サプライチェーンにおける労働者的人権侵害につながる可能性があります。第三者と関わるすべての従業員は、コンプライアンスを確保する上で重要な役割を担っています。

第三者との契約・協働時にすべきことは？

- サプライヤー、カスタマー、その他の第三者に対する明確な基準を含むRPPを読み、理解する。RPPには、オンボーディング（導入）、モニタリング、違反対応のためのツール、ガイダンス、プロセスが用意されている。従業員が第三者の行動に関する懸念を提起し、解決を求めるための仕組みも整備されている。RPPはガバナンス機関によって監督されている。
- すべての第三者を、オンボーディング（導入）、契約、継続的なモニタリング（リスクベースの監査や問題の是正を含む）において、RPPの管理対象とする。
- 第三者の選定、候補選定、入札プロセスにおいて、RPP要件を満たす能力を有するかどうかを考慮する。

- サプライヤー、販売代理店、その他の関係者との契約（MSA、UPA、CTC、PO、DOなど）には、RPP要件を満たすことへの同意を条件とする条項を含める。
- RPPに関連する契約変更には、法務ビジネスパートナーへの事前相談と、レスポンシブル・ビジネス部門からの書面による承認を得ることなく同意しない。
- 第三者によるRPPまたは法的要件の違反を認識した場合、または疑いがある場合は、ラインマネージャー、レスポンシブル・ビジネスチーム、またはビジネス・インテグリティ部門に報告する。
- 人権違反によってパートナーとの関係解消を検討する前に、問題の是正支援についてレスポンシブル・ビジネスチームと協議する。
- RPPに違反していると特定された第三者との取引は、直接または他者を通じて行わない。ただし、責任あるビジネスチームから正式な免除または特例が認められている場合を除く。
- 人権および市民の自由を擁護するすべての個人およびコミュニティの権利を尊重する。
- 土地の調達、処分、用途変更を行う際には、法的要件および人権への影響についてガイダンスを求める。ユニリーバは慣習的かつ正当な土地所有権を尊重し、土地の強奪を容認しない。

詳細情報はどこで確認できますか？



- レスポンシブル・ビジネス部門または人権部門
- レスponsibility Partner
- 人権ポータル